

市民とともに考える

「原発再稼働問題」 in 仙台

「3.11」大震災・原発事故後から、1年余りがたちました。

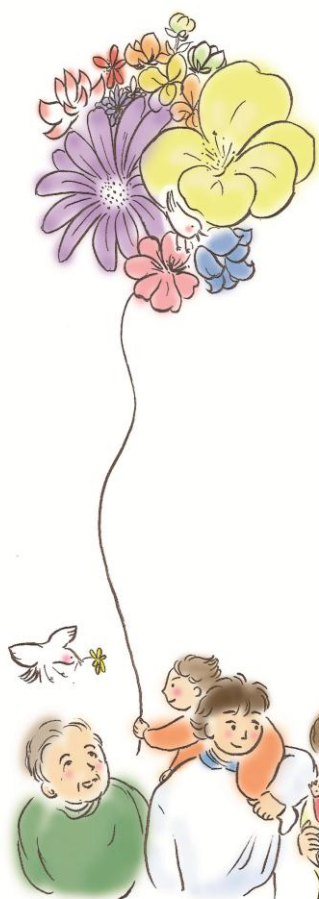
そして、深刻で複雑な実態がますます明らかになってきました。

日本科学者会議では、被災者・被災地の復旧・復興のあり方を総合的科学的に検討しています。

今回のシンポジウムでは特に女川原発再稼働の動きに焦点を当て、原発・エネルギー問題を重点的に取り上げ、皆さんとともに考えたいと思います。

日本科学者会議東日本大震災問題特別研究委員会の会員などからの報告と、

現場の被災者や報道機関関係者からのご意見を受けて、参加者との活発な討論を行います。



- | |
|--|
| <p>I. [講演者・演題] 各30分</p> <ol style="list-style-type: none">1. 岡本良治氏 (福岡支部)・・・「原発事故と地震」研究の現段階2. 山本富士夫氏 (福井支部)・・・福井での反原発運動と科学者3. 佐川清隆氏 (東京支部)・・・再生可能エネルギーへの転換の課題 <p>II. 現場からの報告 [発言予定者] 各10分</p> <ol style="list-style-type: none">1. 高野博氏 (女川町議会議員)2. 渡部寛一氏 (南相馬市議会議員)3. 平野雄吾氏 (共同通信記者)4. 伊東達也氏 (原発問題住民運動全国連絡センター代表) <p>III. 参加者との討論 110分 (休憩時間を含む)</p> |
|--|

日時：2012年7月16日(月・祝)

13:00~17:00

場所：仙台弁護士会館(晩翠通東側に面して青葉通から少し南)

【主催】日本科学者会議・東日本大震災問題特別研究委員会・東北地区各支部

【協賛】東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議、東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センターふくしま復興共同センター、
原発問題住民運動宮城県連絡センター、岩手大学教職員組合、東北大学職員組合、福島大学教職員組合

お問い合わせ：宮城県高教組 TEL022-234-1335 (桜井)

※資料代として300円をいただきます